

研究テーマ名	ウェルビーイング向上のための二輪車のブランディングー二輪車死亡・重傷事故防止に向けた安全教育
背景と目的	23 年度自主研究内での業界ディスカッションにおいて、二輪車の有効活用/ブランディングには、バイク文化の創造とイメージ向上と業界・利用者ほかそれぞれの社会責務の遂行が必要であり、特に近年の交通事故状況から二輪車関連の死亡・重傷事故の低減ならびにイメージ改善による利用者の拡大を図り、有効な交通手段として再認識されるようになることで、実用・趣味の両視点を通じた二輪活用が促進され、ウェルビーイング向上に貢献できる方向性を見いだした。ここでは、JAMA から提供される事故データの分析から、二輪事故を低減するための対策の訴求方法、具体的な安全教育資料ならびにその効率的な普及方法の提案を行い、 産官学が連携して その社会展開を行う。その結果として 2030 年までの国内二輪事故死亡者数の半減、および二輪車普及国への国際的な展開も目指す。
期待される成果	<p>実験データによるエビデンスに基づき、かつビジュアル的に一般ユーザーへの訴求性の高い教育資料の作成と普及方法の確立により、二輪車事故低減に向けて以下の 2 点を先行して改善する。</p> <p>① ヘルメット脱落実験を各種条件で実施する。そのデータを分析し脱落要因を科学的に明確化する。そのエビデンスを基に安全教育方法の改善や道交法の改定までを視野に入れ、国内二輪事故死亡者（近年で 500 人程度）の中で 30% を占めるヘルメット脱落状況の改善により死者数の 1 割程度の減少を目指す（1 年目）。</p> <p>② 対四輪事故のケーススタディを ITARDA の交通事故データ分析から行い、すべての免許保有者に対しての安全啓発方法を提案する。いままで行き渡らなかった他の道路交通参加者と二輪車との事故の減少をターゲットとした教育資料・教育方法や免許更新時講習などを活用した教育機会の提案を目指す（2 年目以降）。</p>